

この静岡（まち）に幸（さち）あれ！！ 「一所懸命」が似合う男になりたい！

日頃は、さち茂人の活動におきまして皆様にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

国の政策であります「三位一体改革」や来年4月には静岡市の「政令市移行」を果たすため、市役所は新しい時代(まちづくり)に向けて準備に忙しい限りです。私、さち茂人も時代に取り残されることなく、情報をいち早く取り込み、柔軟で斬新な発想で議会活動に努めるように励んでいます。今年度は議会活動にあわせ、来期の議席獲得に向けてより忙しい1年になりますが、「努力すれば報われる」ことを信じて静岡市で一番「一所懸命」が似合う男になれるよう活動していきたいと思っております。

平成16年のさち茂人役割は、
議会では 総務委員会委員
政令市推進・広域行政特別委員会 委員長
静岡市振興公社理事
その他には 自民党静岡県連青年部長です。

※今年度は、合併後の新静岡市(一国二制度のすり合わせ)や政令指定都市移行準備において、最も重要な役割を担っていきます。



6月の定例議会にて

さち茂人の今年度の議会活動は？

2月議会 総務委員会で

- ・地方分権による新たな財源についての研究
- ・市債について
- ・区役所の組織と人事配置について
- ・若手職員の育成について

を質問しました。

6月議会 総括質問では少子化対策と子育て支援について

(1)「次世代育成支援対策推進法について」と題し、来年度から10年間の子育て支援を推進するための「静岡市地域行動計画」の策定について質問をしました。

- ・子育て世代の住宅政策。
- ・乳幼児医療費の通院に対しては就学前までに年齢を上げ、助成する。
- ・児童クラブ等の「特定14事業」はボリュームを増やすことを中心に議論をしました。

(2)「幼保一元化」については、将来は幼稚園と保育園を一体化させ、料金と制度も合わせることを最終目的として、

- ・「仮称 安東幼稚園」の建設
- ・今後の幼保一元化の動向について

を質問しました。

総務委員会では予備費の活用について「水害にも当然必要であるが、不審火に対しての支出についてはどうか？」と質問しました。

これからを考える！ ～「静岡市を大きく捉えて」今、なぜ政令指定都市？～

- ①大きな市域を持ち、70万人が住む新静岡市は対応すべき事柄や、さまざまな分野の行政サービスが求められています。(地域によって生活や価値観も違うので、地域に合った対応が望まれる)
- ②権限と財源を得ることで静岡市の計画したことを今まで以上に早く実施することができます。(10年掛かることを5年でやる)
- ③自主的、自立的な行財政運営を行えるように都市経営の足腰を強くしていきます。(地方のことは地方でやる)だから、地方自立の時代を迎えるに当たって、現行都市制度上最大の権能と財政力を持つ政令指定都市となり、より地域の実情に合った政策を立案し市民福祉の向上を図って行きたいと思っております。 主役は市民です。

「駿河区では」

区役所をうまく活用して区を盛り上げよう。

これからは区役所を中心としたまちづくりが行われます。区内に住む人たちが集う区役所周辺はにぎやかになってくると予想されます。駿河区は最も人口が増えている地域であることや、歴史・文化の薫る地域という特徴を出して行きたいと思っております。

「葵区では」

中心市街地から山間地奥までの広域な地形をうまく活用します。川と山の自然を大切にすることと元気な市街地を計画して行きます。静岡の特徴ある地形(自然と都市部を融合すること)により静岡にしか出来ないまちを皆さんと考えたいと思っております。 主役は区民です。

年金について考えるといひ

今日は新聞に書いた記事があるな。

もつたかっ・・・

想像の範囲で一年金のよななだ。

年金を一回りかかるとい話を聞いた。大君が前回の衆議院議員選挙の時、

自民党は選挙に勝つと一年金の保険料が上がるのだから、

を減らすよ。その時、誰か言はなかったか、

思いつくなら国民が話してあげようか、

だ、と答えた。それから半年ほどして、

結局の保険料は上げられた。給付金額は上がったから

彼の言はなかった・・・申し訳ない、

僕も年金制度が今のまま成り立つてほしいと思ってる。保険料が上がる事は確かだ、

説明が不十分だ、今の制度でもための、

上の問題、

社会保険庁のことは、

金額の費用をかけて建設した施設のことだ、

ついでに建設費は返さないといい、

社会保険のものを民間人が持つ改革、

5年前、議員は、

だ。今回を機に僕も少くだけ年金の、

は、

実は僕も、

と、

なだけで、

平成二十年まで毎年一八〇〇円ずつ、

月支払いの、

「の厳しい社会情勢の中で、彼ら事業者も制度改正を行って保険料の負担金が残り、

制度の改正は、

また、

当然、

年金への給付は、

税金の投入を増やして、

じや、

自民党の若手議員、

基礎年金、

な、

い、

まじめに、

それが、

五、

分、

思、

い、

の、

入、

給、

と、

と、

分、

給、

給、

国民年金から厚生年金へ移るまでの手続き収入の少ない人が申請して免除を受け、

また、

小泉総理も、

毎年の申請を怠ったり、

や、

六、

現、

こ、

思、

母、

払、

こ、

制、

少、

大、

あ、

ね、

と、

そ、

す、

な、

そ、

た、

が、

は、

編集後記

最近、周辺地域で不審火が多く発生している。警察も消防署も、我々地元9分団もビリピリした空気の中、警戒にも消火作業にも努めている。この前、さちさんが「自警団を設立し、出来る範囲で火災予防に努めるべきではないか?」と言っていた事が頭から離れない。地域の事を考えてもいい機会だと思う。死者が出てからでは遅いのです。自警団が出来たら、さちさんは言いだしっぺだからがんばってください。応援します。

平成16年9月吉日発行
発行責任者 林 稔久
編集担当 上條、小泉、島村、田中
静岡市八幡5丁目14-13
TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096